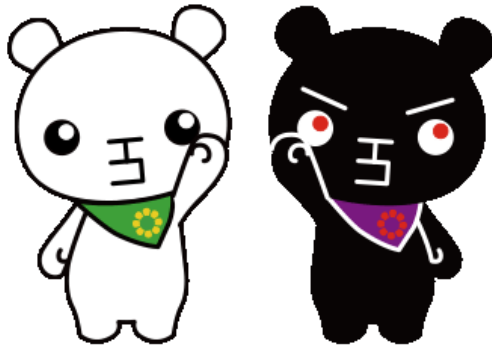


平成29年3月27日  
常任委員会資料  
教育委員会

# 学校における 業務改善 ハンドブック (第1版)

子どもたちと向き合う時間の確保のために



北九州市環境マスコットキャラクター ていたん&ブラックていたん  
©ていたん&ブラックていたん、北九州市

平成29年3月  
北九州市教育委員会



## はじめに

未来を担う北九州の子どもたちのために、各学校において教職員による熱意あふれる取組がなされてきた結果、本市の学校教育はこれまで大きな成果をあげてきました。

他方、全国的にも改めて課題として認識されるほど、学校を取り巻く環境の急速な変化により、学校現場では多種多様な業務に追われ、子どもと向き合う時間の確保等に課題が生じています。

このことから、教育委員会では、これまでの業務改善の取組を一層強化するため、体系的な分析や今後の取組方針をとりまとめた「学校における業務改善プログラム」と、事例集である「学校における業務改善ハンドブック」を策定しました。

教育委員会では、教育委員会や学校が真に必要なことに骨太に取り組む「筋肉質な組織」となることを目指しており、各学校でも、前例踏襲や形式主義に陥ることなく、「新たな学校文化」をつくっていくことが重要です。

「業務改善に取り組むことが多忙化につながる」、「多忙で業務改善に取り組む余裕がない」といって課題を先延ばしすることなく、学校においても業務改善をしっかりと進めることが必要です。

業務改善を進めるにあたっては、便宜的に分類した以下の10の分野について、業務の性質に応じて以下の5つの方法を念頭に取組を進めていくことが必要です。

### 【業務改善の10分野】

- ①全校体制での組織的な取組
- ②校務分掌
- ③教科指導
- ④研修・出張
- ⑤会議
- ⑥行事・事業（学校・地域行事、外部事業等）
- ⑦事務処理
- ⑧部活動
- ⑨生徒指導、特別な配慮を要する子ども、保護者からの要望対応
- ⑩勤務環境の整備

### 【5つの改善方法】

- I 積極的な効率化
- II やりがいある業務とするための内容の充実等の改善
- III 校内での適切な役割分担の推進
- IV 教職員の資質能力の向上
- V 校外の関係者の理解・協力を得る努力

業務改善を進めることで、①子どもと向き合う時間やそれに伴う指導準備時間の確保、②教職員のワーク・ライフ・バランスの充実及びメンタルヘルス等の健康保持につながります。

充実した学校教育活動を行っていくため、教育委員会と学校とが一丸となって業務改善を進めていきましょう。

# 目次

## 出勤

授業準備  
登校指導  
朝自習・学級活動 等

1時間目

2時間目

(中休み)

3時間目

4時間目

給食・昼休み

5時間目

6時間目

掃除・学級活動等

会議  
授業準備  
部活動  
事務作業  
校内研修 等

## 退勤

### 会議の効率化

- ・校務支援システムの回覧板機能の活用 (4ページ)
- ・時間と回数工夫 (6ページ)

### 学校事務作業の効率化

- ・文書管理ルール策定 (8ページ)
- ・職員室等のレイアウト改善 (12ページ)

### 教科指導の工夫

- ・持ち合い授業の活用 (14ページ)

### 校内研修の改善

- ・ワークショップ型の校内研修の推進 (16ページ)
- ・人材育成の推進 (18ページ)

### 部活動指導の工夫

- ・適正な部活動の運営に向けた取組 (20ページ)

### 勤務環境の整備

- ・ワーク・ライフ・バランスの推進 (22ページ)

### 組織的な取組に向けて

- ・全校体制での課題解決 (24ページ)